

フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部
報道部編集
http://www.office-thank.com/~forties/

特集

第18回全日本生涯野球大会 平成18年6月3日~4日 長野県上田市・坂城町



おとうさんの甲子園 長野県上田市・坂城町

還暦を過ぎてても健康である内は野球をやりたい。若い人とは対戦出来なくても同年代ならと、60才、70才になっても全国から集まってくる仲間達と楽しく一緒に野球が出来る。色々なアイデア・発想を生かし取り入れて今日まで発展してきた「全日本生涯野球大会」。今回も我がフォーティーズから有馬監督率いる精鋭が参加。6月3日は好天に恵まれて、早期マイカーに分乗して横浜から出発。首都高を順調に通過も関越道に入った途端事故渋滞に巻き込まれて動かず。30分、1時間が経過。まだ1km走ってないよ。苛々。試合開始に間に合う? 道路に聞いてください! も、約2時間が過ぎた頃から徐々に流れ始めた。事故は所沢約12km地点。手前で良かった。現場を横目で睨みながら折角の信濃路の新緑を楽しむ余裕もなくトイレタイムと弁当を買い込んで坂城のインターを下り、坂城高校のグラウンドに辿り着いた。初戦の相手は地元で待ち構える岡谷チーム。心の動揺が隠し切れず生彩を欠いてノーヒットノーランを喫し完敗。サー元気出して。上田県営球場での全国から178チーム約4,500人余の仲間と共に一風変わった開会式に臨んだ。大会会長大塚氏、相変わらず元気な古葉さんの挨拶等々、夕暮迫る球場に号音が轟き五色の花火が夜空を染める中、球場を後に宿泊のホテルフラトンへ。ひと風呂浴び料理とサッポロビール(スポンサー) 今年も酒はずむ。楽しく野球談義? で夜遅くまで語り合う。明日は2試合共に勝つぞ。



A5リーグ 坂城高校グラウンド

[1日目] 6月3日 土曜日

☆ **第1試合** 12:00~
岡谷ユニバーサルB × フォーティーズ

[2日目] 6月4日 日曜日

☆ **第2試合** 10:15~
フォーティーズ × 八千代クラブ
☆ **第3試合** 12:00~
フォーティーズ × 伊豆クラブ

第1試合 坂城高校グラウンド(晴れ)

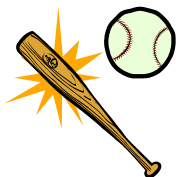
初戦 ノーヒットノーランに抑えられて完敗

(長野)	(1)	(2)	(3)	(3)	(0)	計	安打
岡谷ユニバーサル	0	3	2	0	0	5	(9)
フォーティーズ	0	0	0	0	0	0	(0)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		

勝 片倉 **敗** 塚田

V打点: 高市

三塁打: 北沢(岡谷)
二塁打: 上田(岡谷)



横濱		打数	安打	打点	得点
守 氏名					
6 大西	2	0	0	0	0
2 西岸	2	0	0	0	0
1 塚田	2	0	0	0	0
7 石原	2	0	0	0	0
8 奥田	1	0	0	0	0
D 渡利	2	0	0	0	0
5 福島	2	0	0	0	0
4 岡崎	0	0	0	0	0
D 有馬	1	0	0	0	0
9 大矢	1	0	0	0	0
3 秋山	1	0	0	0	0
D 小林	1	0	0	0	0
チーム計	17	0	0	0	0

岡谷		打数	安打	打点	得点
守 氏名					
7 百合川	3	0	0	0	0
6 宮沢	3	1	0	1	0
9 上田	3	1	0	0	0
1 片倉	2	1	0	1	0
5 玉井	1	0	0	1	0
3 北沢	2	2	2	1	0
2 赤沼	2	1	0	1	0
4 高市	1	0	1	0	0
8 菅野	1	1	1	0	0
D 安喰	1	1	1	0	0
D 横内富	2	1	0	0	0
D 城田	1	0	0	0	0
打 横内修	1	0	0	0	0
チーム計	23	9	5	5	0

※守備位置はスタート時

投手 氏名	回数	安打	三振	四球	失点	投手 氏名	回数	安打	三振	四球	失点
塚田	3	6	4	3	5	片倉	3	0	3	2	0
有馬	2	3	2	0	0	北沢	2	0	1	0	0
チーム計	5	9	6	3	5	チーム計	5	0	4	2	0

先発塚田初回は2死から岡谷上田に右越二塁打を打たれるが、4番を三振に打ち取りなんとか無難な立ち上がり。しかし2回に捕まる。先頭玉井に四球を与え、北沢と赤沼の連打で無死満塁。高市に死球、続く菅野にも四球と自ら墓穴を掘る押し出しで2点、更に安喰の右犠飛で計3点を失う。3回は宮沢と片倉に左前打されての2死一・二塁で6番北沢に右中間突破の適時三塁打で決定的な得点を与える。一方打線は生彩を欠き、片倉、北沢の2投手に完璧に抑えられ打球が内野を越えず。結局2四球と敵失のランナーを出しただけの4残塁に抑えられ、ノーヒットノーランを相手に献上しての完敗となってしまった。

①第2試合 坂城高校グラウンド(晴れ)

西岸 同点のソロ本塁打
福島 勝越しの激走もフイに

(千葉)	(3)	(1)	(3)	(0)	(0)	(0)	計	安打
八千代クラブ	1	0	1	0	0	1	3	(7)
フォーティース	1	0	0	1	1	0	3	(9)
	(2)	(1)	(1)	(2)	(2)	(1)		

ジャンケンにより敗退

本塁打: 西岸(横濱) 二塁打: 奥田(横濱)



横濱					八千代						
守	氏名	打数	安打	打点	得点	守	氏名	打数	安打	打点	得点
6	大西	3	1	0	1	5	木村	3	2	0	1
2	西岸	3	1	1	1	6	小平	1	0	1	1
8	奥田	2	2	1	0	D	角田	2	1	1	0
7	石原	2	0	0	0	8	長谷川	2	1	0	0
1	塚田	1	0	0	0	2	渡部	2	0	0	0
D	渡利	1	0	0	0	4	渡辺	2	0	0	0
5	福島	2	2	0	1	9	木原	2	0	0	0
4	岡崎	2	0	0	0	1	粕谷	1	0	0	0
D	有馬	2	1	0	0	3	岩井	2	1	0	0
9	大矢	2	0	0	0	D	江田	2	0	0	0
3	秋山	2	1	0	0	D	尾崎	2	1	0	1
D	小林	2	1	0	0	7	小林	2	1	0	0
チーム計		24	9	2	3	チーム計		23	7	2	3

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	三振	四球	失点	投手	回数	安打	三振	四球	失点
塚田	3	7	2	1	2	粕谷	3	4	1	1	1
有馬	3	0	2	2	1	小平	3	5	1	1	2
チーム計	6	7	4	3	3	チーム計	6	9	2	2	3

初回八千代の3番角田の中前適時打で先手を取られる。その裏我軍1死後西岸がセンターオーバーの本塁打で同点に追い付く。3回八千代の3連打で無死満塁。2番小平の一塁後方へのフライを野手辛くも捕球もそのまま尻餅、それを見た三走尾崎が好走しての内野犠飛で勝越す。4回我軍大西左前打即盗塁のあと奥田の右中間適時二塁打で同点。5回渡利四球、福島右前打の無死一・三塁で岡崎の遊直飛で三走が飛び出して併殺。チャンスが潰れたかと思われたが福島が果敢に二盗、更に意表をつけて三盗。送球がそれ三塁手は球が手につかず。それを見た福島が猛然とホームに突っ込み、傷だらけの生還で貴重な勝越点。終回有馬が簡単に2死を取って勝利の目前、次打者小平に死球を与える。走者小平一か八の賭けに盗塁を敢行、捕手の送球がそれセンターへ。小平駿足を飛ばし一気にホームを狙う。奥田まさかの油断?慌ててバックホームも間に合わず土壇場で同点のホームインを許して引き分け、勝ちを逃がす。ジャンケンも5対2で敗れる。

①第3試合 坂城高校グラウンド(晴れ)

最終試合で本領発揮 終回
7本の長短打を浴びせて圧勝

(3)	(0)	(1)	(1)	(0)	(7)	計	安打
フォーティース	5	0	0	0	0	8	13
伊豆クラブ	0	0	0	2	0	1	3
(静岡)	(0)	(0)	(0)	(3)	(1)	(2)	(6)

勝 塚田 S 有馬

敗 猪股

V打点: 奥田 二塁打: 大西・石原・福島・岡崎・有馬(横濱)

三塁打: 加藤(伊豆)

伊豆					横濱						
守	氏名	打数	安打	打点	得点	守	氏名	打数	安打	打点	得点
4	桜井	3	0	0	0	6	大西	3	2	0	2
5	井深	3	0	0	1	2	西岸	1	0	0	2
6	渡辺	3	1	0	1	8	奥田	3	2	1	1
2	大木	3	2	0	1	7	石原	2	1	2	1
9	加藤	2	1	2	0	1	塚田	2	0	1	2
1	松本	2	1	1	0	D	渡利	3	2	1	2
7	神尾	3	0	0	0	5	福島	3	1	1	1
8	西島	2	0	0	0	4	岡崎	3	2	3	1
3	登木	2	0	0	0	D	有馬	3	1	1	1
D	藤村	2	1	0	0	9	大矢	3	1	1	0
チーム計		25	6	3	3	チーム計		32	12	11	13

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	三振	四球	失点	投手	回数	安打	三振	四球	失点
松本	3	4	0	3	5	塚田	3	0	4	1	0
桜井	2 1/3	3	1	1	3	有馬	3	6	3	1	3
井深	0	4	0	0	5						
渡辺	2/3	1	2	0	0						
チーム計	6	12	3	4	13	チーム計	6	6	7	2	3

初回切り込み隊長大西の中前打即二・三盗を決め、西岸四球のあと奥田が左前適時打で先制。更に石原、塚田が四球で出塁し、岡崎のライト前2点適時打等で合計5点をあげる。3試合いずれも先発の塚田が大量点に気を良くし、伊豆打線をノーヒットピッチングに抑える。4回有馬が伊豆に3連打を浴び2点を与える。しかし終回先頭大西の右中間二塁打を皮切りに、西岸四球、奥田の投手へのインフィールドフライ落球で1死二三塁とし、石原が右中間適時二塁打。渡利の中前打から福島・岡崎有馬の3本の二塁打、更に大矢も中前へと5本の連続長短適時打とつるべ打ち。打者一巡の猛攻で最後をスカッと気分も快晴。結局今年の生涯野球大会を1勝1敗1分で終了した。

●遠征参加メンバー●

- 監督 有馬 一興 (浜翔)
- 主将 岡崎 四郎 (湘南)
- 秋山 弘 (浜翔)
- 奥田 正信 (浜翔)
- 福島 武男 (浜翔)
- 石原 公紀 (港)
- 大矢 忠夫 (港)
- 大西 直良 (湘南)
- 塚田 惣治郎 (湘南)
- 西岸 正次 (浜風)
- 渡利 阡蔵 (港南)
- 報道 小林一三六 (浜友)

